アライグマ捕獲用箱わな設置について

「大分市アライグマ防除実施計画」に基づきアライグマを捕獲する時は、必ず、「大分市アライグマ捕獲従事者証」を携帯してください。
捕獲従事者ご自身が所有する箱わなを設置する場合は、大分市環境対策課へ連絡し、「アライグマ防除の標識」及び「わな危険表示板」の交付を受けてください。
また、設置場所、設置期間について必ずお知らせください。
アライグマの捕獲に関するお問い合わせは、大分市環境対策課へ。

準備するもの

① **アライグマわな設置記録表**
アライグマの捕獲の有無に関わらず、わなを設置した場合は、その都度、
記入してください。

② **大分市が発行するわな用標識（２種類）**
「アライグマ防除の標識」及び「わな危険表示板」を付けます。
標識の交付については、大分市環境対策課にお問い合わせください。

③ **箱わな**
ファームエイジ中型動物用トラップモデル1089など。
アライグマは力が強く、手先が器用なため、金具を曲げ逃亡するケースがあります。
強度、耐久性に優れたわなを使用する、又は接合箇所を結束バンドや針金等で
補強することをおすすめします。
大分市では、捕獲従事者に箱わなの貸出を行っています。

④ **ペグ４本**
箱わなを固定するための杭。20～30cm程度のもの。
転倒すると蓋が開く可能性があります。

ペグで固定した状態

⑤ エサ
ドッグフード、キャラメル味のコーン菓子など。
甘い物、匂いがあるもの、腐りにくく管理が簡単なものが適しています。
肉や魚などは、劣化が早く、他の肉食動物の混獲を誘発するため、適しません。
農作物の使用は、被害を助長する危険性があります。

⑥ **遮光ネット**
箱わなを覆うもの。枝葉などでも代用可。
捕獲個体の熱中症や鳥類の混獲頻度を軽減できます。

箱わなの設置場所

◆アライグマを確認した場所
被害場所、目撃場所の付近や足跡などを確認した場所。

◆アライグマがよく利用する場所、移動経路など
水路、側溝、小川など水系沿い。
畑、家屋などへの侵入口。
納屋、畜舎のへりなど。

箱わなを設置する時は、土地所有者の同意を得るとともに、近所の方や自治会長さん等に連絡しておいてください。

大分市環境対策課　TEL：537－5758　FAX：538－3302　E-mail kankyotai5@city.oita.oita.jp

アライグマ捕獲用箱わなの設置手順

① **地面の平らなところに設置します。**
誤作動の原因となるので、設置場所とその周辺の草や石などを取り除きます。
踏み板の下や、入口付近は、念入りに行います。

② **ペグや杭などで、しっかりと固定します。**

③ **箱わなの上部を遮光ネットや枝葉などで覆います。**
蓋の作動を妨げないように注意します。

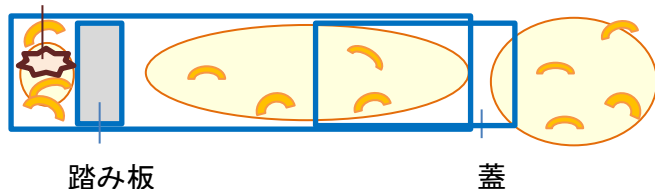
④ **取扱説明書に従い、わなをセットします。**

⑤ **踏み板を押さえて、蓋が正常に作動するか確認します。**

⑥ **踏み板の奥、踏み板の手前、箱わな周辺にエサを撒きます。**
とうもろこし圧扁を、片手で一掴みから二掴み程度まき、その上にコーン菓子を一掴み程度まきます。踏み板の妨げにならないよう気をつけます。

⑦ **再度、踏み板を押さえて、蓋が正常に作動するか確認します。**

揚げパンなど、匂いの強いものを置いてもよい

踏み板　　蓋

：　ドッグフード
：　コーン菓子

枝葉で覆った箱わな

箱わなの見回り・点検等

- **箱わなを設置したら、必ず、「わな設置記録表」に記入します。**
※アライグマの捕獲の有無にかかわらず、記録表に記入します。
- **アライグマは夜行性のため、夜間に捕獲されることが多いので、１日１回、午前中に見回りを行います。**
- **エサが少なくなっていたり、腐敗している時は、補充、交換します。**
- **蓋が正常に作動するか確認します。**
- **金曜日や祝前日は、わなの蓋は閉じてください。**
※土曜・日曜・祝祭日は捕獲されても、市では回収をしていません。

アライグマが捕獲された時

- **午前中までに、大分市環境対策課まで連絡ください。**
- **アライグマ以外の動物が捕獲された場合は、必ず放獣してください。**
- **捕獲したアライグマの取扱いには十分注意し、捕獲個体や箱わなを素手で触らないなど感染症の予防等に努めてください。**

大分市環境対策課　TEL：537－5758　FAX：538－3302　E-mail kankyotai5@city.oita.oita.jp